



来年4月から 大学院グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科を 開設

本学は既設の大学院研究科の改組・統合・再編計画を推進しています。このたびグローバルカルチャー・コミュニケーション研究科博士課程の設置が認められ、来年4月に開設します。この新研究科は、既設の大学院文学研究科英文学専攻と、コミュニケーション研究科言語コミュニケーション専攻および文化創造研究科国際交流専攻の3専攻を統合して、その特色を生かした多彩な教育研究プログラムを展開していきます。

研究科の 教育研究理念と目標

急速な変容を遂げている現代国際社会は、国家間および民族間の協調共存の維持と同時に、個人の活動を含め、信頼関係に立った実践的な貢献の必要性を各国の市民に問うています。

教育研究体制の 特色

本研究科は単一の専攻ですが、その教育研究理念に基づき、国際的言語(英語)力の養成を基盤にして、ユーラシアの主要言語(日本語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語、フランス語、ロシア語など)を選択履修し、国際社会の社会文化的側面からの研究および異文化間のコミュニケーション能力を深めていきます。同時に、現地で実践学習し、院生の自発的意志により、文化交流や社会貢献活動の体験を通して、生きた知識を習得することを教育研究目標としています。

博士前期(修士) 課程の特色

の入学は、4月と10月の2回とします。

- 修業年限
2年を標準年限としますが、特に優秀な学生、または優れた研究や実践等の業績を持つ学生は、1年間で修了することも可能です。
- 2つのコースと7つのプログラム
博士前期(修士)課程は、領域的に「言語文化コース」と「国際交流コース」の2つのコースに、さらに「言語文化コース」は4つのプログラムから、「国際交流コース」は3つのプログラムから構成された体系的かつ学際的なカリキュラム編成を行っています。院生はこの2つのコース、合計7つのプログラムからなる授業科目を、その多彩な教育研究目的に応じて、コースやプログラムを横断して科目を履修することも可能です。

研修が用意され、そこで確かな実践力を身につけ、理論と実践を有機的に連携するカリキュラム構成となっています。

- 修了要件
30単位以上修得し学位論文を提出するか、「フィールドスタディ」または「海外研修」4単位を含む34単位以上修得するか、いずれかを選択できます。

なお詳しい資料や入学試験の要項をご希望の方は、入試広報室へ請求ください。

大学院グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科

グローバルカルチャー・コミュニケーション専攻		
課程	博士前期(修士)課程	博士後期(博士)課程
定員	30人	5人
課程の編成の考え方や特色	言語文化コース グローバルな文化の仕組みを理解し、言語に対する知識と、異文化に対する深い知見、高度な言語コミュニケーションを学び、それらの分野における専門的人材を育成する4つのプログラム。 ● コミュニケーションプログラム ● ランゲージスタディーズプログラム ● 外国語(英語・中国語・日本語)教育プログラム ● 文化探求プログラム	国際交流コース グローバルな文化交流・人的交流事業の国際開発・協力などに携わるための理論研究とともに、個々の諸問題の具体的解決や社会貢献などの実践的な活動を通して、専門的知識や技能を修得し、国際交流に寄与する専門的人材を育成する3つのプログラム。 ● 国際社会貢献プログラム ● 地域文化交流プログラム ● 文化翻訳プログラム
	英米文学、外国語コミュニケーションにかかわる高度な専門家および研究者を養成するプログラム。	

本研究科は、このような時代と社会の要請に応えるべく、高度でアカデミックな教科の内容と関連させながら、「市民性」を培い、社会に実践的に働きかけ、市民社会意識と社会貢献能力を備えた人材を育成することを使命としています。

- 受入学生
本学および他大学卒業生、一般企業・官公庁・教育機関などで働く社会人、大学教育を終えた家庭人、外国人留学生などの多様な経歴、学歴を持った学生を受け入れます。
- 入学期
外国人留学生、外国大学卒業生、外国大学への留学希望者ならびに社会人の受入を容易にするため、各年度

- 学習成果を実践学習で体験
それぞれのプログラムには、充実した「フィールドスタディ」および「海外

お問い合わせと願書等資料請求先

愛知淑徳大学 入試広報室

〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23

TEL (052) 781-7084(直通)

ホームページ http://www.aasa.ac.jp/

E-mail kouhou@asu.aasa.ac.jp